

# グンゼラブアース倶楽部

2018年度 活動報告



明日をもっと、こちよく

**GUNZE**





わたしたち『グンゼラブアース倶楽部』は、2006年4月、グンゼ株式会社の創立110周年を記念し設立されました。以来、社会貢献活動を行っている団体への支援などを通じてお互いが支え合い、より良い社会づくりを実現する仲間になりたいと活動を継続しています。

2017年度に引き続き2018年度においてもグンゼの本業を活かした持続可能な支援(CSV)の考え方を取り入れ、自社製品による支援を充実しました。新規の支援先であるみらいこども財団では支援商品をYahooくじ付き募金で活用するなど新しい取り組みもありました。今後も『グンゼラブアース倶楽部』ではグンゼの本業の製品やサービスを活かした持続可能な支援を充実していきたいと考えておりますので、これからも皆様からのあたたかいご支援をお願いいたします。

2019年 6月

代表幹事 **佐口 敏康**

## CONTENTS

### 活動報告

activity report

2018年 活動内容 / 決算・監査報告 / 支援先選定について

P2

### 支援先紹介

Support place introduction

認定特定非営利活動法人 日本クリニックラウン

特定非営利活動法人 国境なき子どもたち (KnK)

特定非営利活動法人 ロシナンテス

特定非営利活動法人 AMDA(アムダ)

公益社団法人 Civic Force(シビックフォース)

認定NPO法人 J.POSH

特定非営利活動法人 ブリッジフォースマイル

公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン

一般財団法人 みらいこども財団

大阪府 環境農林水産部 みどり推進室 みどり企画課 計10団体

P4

### その他CSR活動

corporate social responsibility

災害支援 / 京都地域活性化包括連携 / 文化・スポーツ振興プロジェクト

京都モデルフォレスト / 福島復興支援 / ピンクリボン活動 / 放課後子ども教室

シングルマザー応援フェスタ / もったいない活動 / その他活動

P14

# 活動報告



ガンゼの創業の精神に基づき、110周年を記念し新しい制度として2006年4月に設立された「ガンゼラブアース倶楽部」は昨年で創立12年目を迎えました。今後も会員の皆さまからの寄付(100円/1口～天引き)と会社のマッチングギフトを原資とし、「持続可能な社会形成」のために活動しているNPO団体などへの支援を続けていきます。

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
会員募集	←—————→											
A会員	←—————→											
B会員	←—————→											
実施項目	会計監査		会報発行	支援先選定 運営委員会			寄付金支援先へ 振り込み	物品支援先へ 発送手配				会計確認
もったいない活動	←—————→											

## 収支計算書 (2018年4年1日から2019年3月31日)

(単位:円)

収入の部	
項目	金額
前期繰越金	668,902
当期収入	
活動資金(A会員)	994,000
活動資金(B会員・賛助会員)	6,000
預金利息	5
当期収入計	1,000,005
収入計	1,668,907

支出の部	
項目	金額
支援先への寄付	1,005,332
寄付金振込手数料	3,002
残高証明証手数料	1,080
支出計	1,009,414
※次期繰越金	659,493

## 貸借対照表 (2019年3月31日)

(単位:円)


資産の部	
科目	金額
預け金	659,493
資産計	659,493

負債・剰余金の部	
科目	金額
次期繰越金	659,493
負債・剰余金計	659,493

## 2018年度 グンゼラブアース倶楽部 会計監査報告

ガンゼラブアース倶楽部会則25条に基づき2018年度ガンゼラブアース倶楽部の決算にあたり、会計監査を実施し、関係書類を監査した結果、決算書のとおり、その処理が適正かつ正確であったことをここに報告いたします。

監査委員  
氏名 中山 佳則 

氏名 高山 新 



## ■支援先団体の選定について

2018年6～7月にA会員様を対象に支援先に関するアンケートを実施。その結果を受けて7月23日に運営委員会を開催しました。

運営委員会ではアンケート結果をもとに、CSV(Creating Shared Value)の観点から、本業の製品やサービスで支援できる支援先を優先して選定。新規の1団体を含む10団体を支援先として決定、交渉の結果10団体への支援を実施しました。

実施期間：2018年6月27日～7月14日  
 対象者：グンゼラブアース倶楽部A会員193名中メールアドレス所有者185名に配信  
 回答総数：83名  
 回答率：44.9%

## ■支援先団体について（計10団体）

2018年度は6団体へ10～20万円の寄付と、6団体へ10万円～20万円相当の肌着・ソックス・苗木を寄贈しました。

支援先	支援回数	寄付金支援(円)	物品支援(円)
認定特定非営利活動法人 日本クリニックラウン	12回目	200,000	
特定非営利活動法人 国境なき子どもたち(KnK)	12回目	200,000	
特定非営利活動法人 ロシナンテス	12回目	100,000	100,600
特定非営利活動法人 AMDA(アムダ)	9回目		192,800
公益社団法人 Civic Force(シビックフォース)	7回目	200,000	
認定NPO法人 J.POSH	4回目	100,000	99,000
特定非営利活動法人 ブリッジフォースマイル	3回目		196,000
公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン	2回目	200,000	
一般財団法人 みらいこども財団	1回目		203,400
大阪府 環境農林水産部 みどり推進室 みどり企画課	1回目		155,520
合計		1000,000	947,320

本業を活かした持続可能な支援(CSV)という方向性に基づき、2018年度は、単なる寄付ではなくグンゼの事業やサービスを有効に活用した支援先6団体を含む10団体への支援を行ないました。会員の皆さま、誠にありがとうございます。今後も会員の皆さまの意見を頂きながらよりよい支援活動ができるよう運営して参ります。

これからも皆さまからの変わらぬご支援をお願いいたします。





沖縄県立南部医療センター・こども医療センター訪問



第8回 大阪マラソンチャリティランナー  
※第9回大阪マラソンチャリティランナー募集中!

### メッセージ

2018年度は、みなさんのおかげで47病院を310回訪問し、一万人を超える入院中の子どもたちに「こども時間」を届けることができました。平成17年に設立した日本クリクラウン協会が次の年号を迎えることができ、感謝の気持ちでいっぱいです。日本にはなかった「病院を訪問するクラウン」という文化が、この14年で少しずつ広まってきたのは、たくさんの方々が活動を理解してくださり、必要と認めてくださったからだと思います。そして、いろんなかたちでクリクラウンの活動を応援してくださっている仲間のおかげです。たくさんの方々を支えていただき、本当にありがとうございました。

令和元年もワクワクドキドキを大切に、前へ進んでいきます。4月のクリクラウンの病院訪問は15病院18回、5月の病院訪問は19病院23回、実施しました。

小児病棟には、ドクターはもちろん看護師さん、保育士さんなどいろんな職種の方々が入院生活を送る子どもたちをサポートしています。私たちクリクラウンも、入院生活を送る子どもたちの療育環境向上のため医療現場の皆さんとチームになって、子どもたちの成長のサポートができたかと考えています。今年度もクリクラウン、事務局スタッフみんなの力を合わせて「こども時間」を届けていきたいと思いますので引き続きご支援をお願いいたします。

〒530-0001  
大阪府大阪市北区  
梅田2-6-25ハートビズOSAKA  
オフィスタワー  
グンゼプラザース倶楽部 5F

2018年11月14日

日本クリクラウン協会への活動支援の謝状

拝啓

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。  
この度は、日本クリクラウン協会にご協力を賜り、誠にありがとうございました。  
「寄附金受領証明書」を同封しましたので、ご返却ください。  
貴協会に多くの課題がありますが、病児生活を送る子ども達が、こども本来の持っている生きる力を取り戻し、笑顔になれる環境の創出を目指して、これからも頑張る所存であります。  
今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、会員年会費、レッドノーズ専用寄附金控除対象となりますので、「寄附金受領証明書」でお送りしています。  
また、会員の方、ご寄附をいただいた方のお名前も、活動報告書などで掲載いたします。  
匿名を希望される方は、事務局までご連絡ください。  
この受領証明書記載の個人情報は、氏名、住所、寄附金額、寄附金受領日は、寄附者の個人住民票の記録簿に属する情報を一時的に入力するため、大阪府下の住所の方は大阪府及び住所地の市町村に提供します。個人情報の提供について同意されない方は、お申し出ください。

敬具

＜きりとり＞  
寄附金受領証明書  
住所：大阪府大阪市北区梅田2-6-25ハートビズOSAKAオフィスタワー  
グンゼプラザース倶楽部 5F  
〒200,000 -  
上記の金額を受領いたしました。  
認定特定非営利活動法人 日本クリクラウン協会  
理事長 河野世  
〒530-0001  
大阪府大阪市北区末広町3-11天しもビル3F  
郵送履歴の番号 大阪府知事市役所第16005号  
郵送年月日 2018/11/29

(注) 上記の金額は、当法人の行う特定非営利活動に係る事業に直接関連する寄付金として提供した金額であり、国税特別控除第41条の18の2第1項及び第41条の11の2第1項に規定する特定非営利活動に係る事業に直接関連する寄付金に該当することを証明いたします。



団体名: 認定特定非営利活動法人 日本クリクラウン協会

住所: 大阪府大阪市北区末広町3-11 天しもビル3F

TEL: 06-4792-8716

### 活動概要

★入院している子どもたちが、こども本来の生きる力を取り戻し、笑顔になれる環境をつくる活動を行う

1. 闘病生活を送るこどもの権利を尊重し、クリクラウン(臨床道化師)に関する事業を行うことにより、こどもの健全育成、保健、医療または福祉の発展に寄与する
2. クリクラウン養成事業・派遣事業のほかクリクラウンに関する啓発事業を行う



# 支援先 活動報告

## 特定非営利活動法人 国境なき子どもたち (KnK)



<http://knk.or.jp/>



パキスタンの「女子教育向上」支援



カンボジアの自立支援施設「若者の家」のこどもたち


### メッセージ

2018年も引き続き、カンボジア、フィリピン、バングラデシュ、パキスタン、ヨルダン、パレスチナ、そして岩手県の一部において困難な状況にある子どもたちに教育の機会を届けることができました。特にヨルダンのザアタリ難民キャンプにおいてシリア難民支援を継続できたのも、ご支援者やご協力者、そしてメディアの皆さまが子どもたちを応援し続けてくださるおかげと、心より感謝を申し上げます。

この1年間で実現できたことにつきましては自立支援施設「若者の家」やさまざまな子どものための施設はもちろん、フィリピンの貧困地域の路上や青少年鑑別所、もしくはバングラデシュの船着き場で、教育の場から最も遠い所で1日中働いたり、大人の見守りもなく劣悪な環境で日々を過ごす子ども・青少年に、学ぶ機会や居場所を提供できましたことをお伝えします。

また各地での教育支援活動と並行して、東京事務局を中心に、組織体制の強化や資金管理の徹底など、団体としての基盤固めに職員一丸となって取り組みました。

子どもたちに安定して支援を継続できるよう、組織の安定にはさらに心を配り努力して参ります。子どもたちの自立のために、どうぞ引き続きご協力いただけますよう、願っております。



特定非営利活動法人 国境なき子どもたち (KnK)  
〒161-0033 東京都新宿区下落合4-3-22  
TEL: 03-6279-1126 FAX: 03-6279-1127  
E-mail: [kodan@knk.or.jp](mailto:kodan@knk.or.jp)  
[www.knk.or.jp](http://www.knk.or.jp) [www.knk-twale.jp](http://www.knk-twale.jp)

発行日: 2018 (平成30) 年 11 月 7 日  
受領日: 2018 (平成30) 年 10 月 31 日

〒530-0001  
大阪府大阪市北区南田 2-6-25  
ハービス OSAKA オフィスタワー22 階  
グンゼラブアース倶楽部 御中  
ご支援者さま番号: 5517

受領書番号: 32306

〒161-0033 東京都新宿区下落合 4-3-22  
特定非営利活動法人国境なき子どもたち  
会長 吉田 隆之

受領書

特定非営利活動法人国境なき子どもたち (KnK) が行う世界の恵まれない青少年支援事業への寄付金として、下記の金額を確かに受領いたしました。

記  
金 200,000 円也

国境なき子どもたち (KnK) 東京都知事より認定 NPO 法人に認定されています。これにより、明細書へのご寄付は高付金控除の対象となり、税制上の優遇措置を受けられます。(認定番号: 26 生都地第 1546 号)

\* ご寄付の受領日は明細書への入金日とさせていただきます。  
\* 恩恵給など不特定多数の皆さまによるご寄付につきましては、税制上の優遇措置の対象外となります。  
\* 受領書の再発行はいたしませんので、大切に保管してください。  
本状に関するお問い合わせ先 TEL: 03-6279-1128 (平日 10:00-18:00)

以上



ゴミ山で働く少女を取材する友情のレポーター



バングラデシュの就労支援

団体名: 特定非営利活動法人 国境なき子どもたち (KnK)

住 所: 東京都新宿区下落合4-3-22

T E L: 03-6279-1126

#### ■活動概要

1. 教育や職業訓練、自己表現の機会を提供し、子どもたちの将来の選択肢をひろげ、その健全な社会参加を後押しする
2. 貧困や紛争、災害で困難な状況にある子どもたちに寄り添い、その成長過程にふさわしい生活を送れるよう手助けする
3. 日本の子どもたちが、世界の子どもたちの抱える現状を知り、多様な価値観を学び、互いに支え合える次世代を育成する





<https://www.rocinantes.org/>



アルザリバ村 眼科検診イベントの様子



オムサマー村においてコミュニティ・ミッドワイフへ冬物インナーを寄贈

### メッセージ

2月5日、ロシナンテスが給水所建設を行っているスーダン共和国のオムサマー村とその周辺の妊婦に、冬物衣類(HOTMAGICの厚地ロングスリーブシャツ 品番:MH0708 など)を28枚配布しました。また、3月1日にはロシナンテスの事業パートナーであるマッカ病院の無料眼科検診イベントで、啓発のための保健衛生に関するクイズを実施し、正解者への景品として冬物衣料を28枚配布しました。マッカ病院は眼科専門の病院で定期的に地方での無料眼科検診を実施しています。今回アルザリバ村で行われたイベントには約70名の住民が参加されました。配布後は皆さんが暖かな冬物衣類に大変満足いただきました。グンゼラブアース倶楽部の皆さま、ありがとうございました。

ロシナンテスが事業を行うアフリカ・スーダンでは、2019年4月11日、スーダン軍がオマル・バシル大統領を解任したとの発表がありました。30年実権を握ってきた大統領が解任されたことで、スーダンは今大きな転換点を迎えています。また、日本では平成から令和という新しい時代を迎えようとしています。ロシナンテスを設立して14年目が経つ本年度はスーダンとともにザンビアでも事業展開を行うことを決めました。スーダン、ザンビアと活動範囲が広がりますが、北九州本部、東京事務所、スーダン事務所、そして開設するザンビア事務所のスタッフが一丸となって地域医療に取り組んでまいります。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

発行日 2019年11月9日  
整理番号 1000007

〒530-0001  
大阪府大阪市北区  
梅田2-5-25ハリスOSAKAオフィスタワー22階  
グンゼラブアース倶楽部 御中

**領収書**

寄付金として、下記の金額を収めました。

**合計 100,000円**

*寄付金内訳								
No.	受領日	金額(円)	No.	受領日	金額(円)	No.	受領日	金額(円)
1	2019/10/31	100,000	2			3		
4			5			6		
7			8			9		
10			11			12		
13			14			15		
16			17			18		
19			20			21		
22			23			24		

〒800-0002 福岡県北九州市小倉北区船場町1番35号北九州市立商工貿易会館7F  
特定非営利活動法人 ロシナンテス  
(認定) P O 認定日: 平成28年12月28日 / 認定番号: 16-550

受領した寄付金はロシナンテスの行う特定非営利活動に係る下記の事業に供用する可能性があります。

1. 医療や社会福祉の提供を行うための設備や人材の育成等に充てる事業
2. 教育や社会福祉の提供を行うための設備や人材の育成等に充てる事業
3. 社会福祉や教育の提供を行うための設備や人材の育成等に充てる事業
4. 社会福祉や教育の提供を行うための設備や人材の育成等に充てる事業
5. その他この法人の目的達成に必要と認められる事業

本領収書は、寄付金控除の税上の優遇措置が受けられます。  
領収書を受け取るためには規定の印に押して、この領収書が必要となりますのでお預りください。

このたびはロシナンテスの活動にご寄付を賜り、厚く御礼申し上げます。  
皆様からの寄付は、ロシナンテスの行う特定非営利活動に有効に役立ててまいります。  
今後ともご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

【領収書について】

1. 厚紙として、ご寄付をお申し込みいただいた際に記載されたご住所・ご氏名あてに送付いたします。
2. 再発行はいたしませんので大切に保管してください。(破損や紛失の場合は再発行をさせていただきます)
3. クレジットカード及び銀行口座振替にもご寄付の「受領印」はロシナンテスへの「寄付金」となるとともに、ご本人様の領収書として扱われ領収書としてご活用いただけます。
4. 確定申告に際しては、領収書の控えを必ずお持ちください。

・お問い合わせ先 認定NPO法人ロシナンテス 電話: (093) 521-6470 / メール: info@rocinantes.org  
(〒116-0017 東京都荒川区西日暮里1-10-1)



HOTMAGICを妊婦へ配布



眼科検診にてクイズ正解者へ 配布

団体名: 特定非営利活動法人 ロシナンテス

住所: 福岡県北九州市小倉北区古船場町1番35号

北九州市立商工貿易会館 7F

T E L: 093-521-6470

#### 活動概要

1. 貧困や紛争等の課題を有する世界の国や地域に対して、幅広く寄付金および協賛金を募る事業や、医療をはじめとして教育、農業などの活動を通じて国の基盤づくりを手伝う
2. 日本と関係する国々との国際交流の発展に寄与する
3. 大規模災害で被災した人々に対する支援活動を通じて、早期の復興を図る



# 支援先 活動報告

特定非営利活動法人 AMDA(アマダ)

<http://amda.or.jp/>



箱いっぱい、あったかインナー「HOTMAGIC」



こだわり綿素材インナー「快適工房」

## メッセージ

11月30日、西日本豪雨で被災された岡山県倉敷市真備町の小規模多機能ホームぶどうの家真備の方々へ、寄付頂いた冬用下着、(女性用タイツ:Mサイズ、Lサイズ、それぞれ20枚、女性用インナー:Mサイズ、Lサイズ、それぞれ25枚、男性用タイツ:Mサイズ、Lサイズ、それぞれ10枚)合計110枚をお届けしました。

ぶどうの家真備の利用者13名の皆さんは、西日本豪雨災害で被災し、倉敷市真備公民館の園分館でほぼ4か月間の避難生活を余儀なくされました。寒くなる日々、まだ半袖の下着しかないとおっしゃる方が、「温かい下着をまっていたからとてもありがたい。」と言いながら、自分に合うサイズを早速、探していらっしゃる様子でした。また、ぶどうの家真備の代表を務める津田さんは「近隣にも冬用下着はないかと聞きに来られる方もいらっしゃるのとお渡ししたい」とおっしゃっていました。

その他、インド連邦最貧州と言われるビハール州ブダガヤにあるAMDA Peace Clinicで行っている母子保健サービスを受けに来られる妊産婦さんたちのためのショーツ (品番:KH3270) 300枚もご寄付いただき、ありがとうございました。ご寄付いただいた下着は、妊娠が分かった際に2枚、出産後、クリニックに出産報告に来ていただいた際に2枚を、クリニックを利用する妊産婦に配布しています。この病院は2009年より活動を始め、昨年は10周年を迎えることができました。2014年より現地のニーズに合わせて、妊産婦支援活動を積極的に行っています。「救える命があればどこへでも」、今後もAMDAの活動にご支援いただけますよう、お願いいたします。

Association of Medical Doctors of Asia 特定非営利活動法人 アムダ 医療従事者国際協会 〒700-0013 岡山県倉敷市伊福町3-31-1 3-31-1 Murochoy Kitaku Okayama City, Okayama 700-0013 Japan TEL:086-252-7700 FAX:086-252-7717 http://www.amda.or.jp http://www.amdatransnational.com	
平成 30 年 11 月 22 日	
グンゼラブアース倶楽部 御中	
受領書	
<< 明細 >>	<< 御寄付者名 >>
肌着 410 枚	グンゼラブアース倶楽部
上記を、正に受領いたしました。	
〒800-0013 岡山県倉敷市伊福町3-31-1 医療従事者国際協会岡山協議会 AMDA：認定特定非営利活動法人アムダ	

★妊婦さんからお礼のメッセージが届いています

いただいたグンゼの下着は妊娠中は着けていません。出産後、布パッドを付ける際にはいただいた下着を活用します。下着がもらえて大変嬉しく思います。



**団体名:**特定非営利活動法人 アムダ (AMDA)  
**住 所:**岡山県岡山市北区伊福町3丁目31-1  
**T E L:** 086-252-7700

### ■活動概要

- 1.アジアや中南米において、戦争・自然災害・貧困等により社会的・経済的に恵まれず、社会から取り残されている人々への医療救援と、生活状態改善のための支援活動を行う
- 2.世界32の国と地域にある支部の医師・医学生ネットワークを活かし、多国籍医師団を結成して支援活動を行う



# 支援先 活動報告

公益社団法人 Civic Force (シビックフォース)

<http://www.civic-force.org/>



西日本豪雨被災地支援



西日本豪雨被災地支援

## メッセージ

2018年は災害の多い年でした。7月に発生した西日本豪雨では陸空双方から緊急チームを派遣し、病院間の患者搬送、救助犬による行方不明者の捜索、避難所内外での医療サービス、緊急支援物資の配布などを実施しました。グンゼ様にいち早く届けていただいた良質の下着などは、着の身着のまま逃げてきた避難者の方に好評で「やっと着替えられる!」「本当に助かる!」と涙ながらに語られる場面もありました。

また、東日本大震災の中長期復興支援事業として2012年に開始した奨学金&教育プログラム「夢を応援プロジェクト」は、2019年3月末でその役目を終えました。奨学生は述べ100人近くにのぼり、東北で始まった合宿研修は、熊本地震(2016年)や九州北部豪雨(2017年)の被災地でも実施し、若者がそれぞれの被災経験・教訓を共有し合う場にもなりました。

組織運営においては、2017年に複数の企業やNPOとともに立ち上げた緊急災害対応アライアンス「SEMA(シーマ): Social Emergency Management Alliance」が、西日本豪雨の被災地で初めて機能し、より効率的かつタイムリーな支援の実現につながりました。いつ起こるか分からない災害に向けて、これからも一緒に“備え”てください!

530-0001 大阪府北区梅田 2-5-25 ハービゾンOSAKA オフィスタワー	公益社団法人 Civic Force 〒154-0063 東京都渋谷区西目黒 2-41-12 富ヶ谷小川ビル2階 TEL: 03-5790-9366 FAX: 03-5790-9365 info@civic-force.org http://www.civic-force.org いつもご支援をありがとうございます。 Dec 2019 14:21
グンゼラボアース倶楽部 御中	
ご寄付の御礼	
この度はシビックフォースの活動へご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。私たちの活動を支えてくださる皆様からのお気持ちには本当に大きな力をいただいております。スタッフ一同、心より御礼申し上げます。	
私どもの活動や事業内容でお気づきになった点や、ご意見、ご質問などがございましたらぜひ事務局までお寄せいただければ幸いです。	
今後とも、ご理解、ご協力のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。	
領収証	
グンゼラボアース倶楽部 御中	
金 200,000 円也	
但し、当法人が行なう公益目的事業への寄付金として、上記正に領収致しました。	
2019年10月31日 公益社団法人 Civic Force 代表理事 大西 隆志	
東京都渋谷区富ヶ谷 2-41-12 富ヶ谷小川ビル2階	
CIVIC FORCE	



岡山県まび記念病院から患者を搬送



大分県中津市耶馬溪の土砂災害現場

団体名:公益社団法人 Civic Force (シビックフォース)

住 所:東京都渋谷区富ヶ谷2-41-12 富ヶ谷小川ビル2階

T E L: 03-5790-9366

### 活動概要

1. 大規模災害時支援のためのNPO/NGO・企業・政府・行政が連携するプラットフォームの構築
2. 緊急災害時にパートナーと共同して支援事業を実施する
3. アジア太平洋地域と連携し、「アジアパシフィック アライアンス」の活動に参加する



# 支援先 活動報告

認定NPO法人 J.POSH

<http://www.j-posh.com/>



10月7日大阪なんばウォークでのピンクリボン活動



10月8日京都ゼスト御池でのピンクリボン活動

## メッセージ

昨年に引き続き、ご支援をいただきありがとうございました。寄付いただいた、肌への刺激を減らした「メディキュア」前開きハーフトップ60着に関しては、乳腺患者友の会“すずらの会”(三重県)と“笑美の会”(香川県)を通じ乳がん患者の皆さんに配布されました。試着した感想を聞くと「自分の体に合うように、自分でカットできるのが良い」「すごく楽で着心地が良い」「術後は腕を動かさにくいので、前開きなのが良い」と概ね好評の一方「前開きのホックが多すぎ」「大きく形の良い胸に見えるようなパッドが欲しい」などの要望もありました。「ガンゼがこのような商品を作っているとは知らなかった」という声も多かったため、今後多くの方に商品を知って頂くきっかけになればと思います。2002年2月にJ.POSHを設立後、2003年3月に非営利活動法人J.POSH(日本乳がんピンクリボン運動)として認証を受け、17年が経過しました。2014年3月には認定NPO法人を取得し、「税制(所得税)優遇」を受けることができ、さらに安定した活動が可能になりました。認定NPO法人は、5年で継続審査を受ける必要があり、2019年2月5日に審査を受け、認定NPO法人として継続が認められました。ひとえに皆様の温かいご支援の賜物と感謝しております。今後もすべての女性、乳がん患者、乳がん患者の家族に対して、乳がんに関する啓発活動、医療支援 患者ならびに患者家族への心のサポートを中心に、広く活動を行いますので、引き続きご支援いただきますようお願いいたします。

### 寄附金受領証明書

大阪市北区梅田2-5-25  
ハービ JOSAKA オフィス9F-22階  
ガンゼ株式会社 様

寄附金額 金 100,000 円

寄附金として、上記の金額を受領いたしました。

2018年10月31日

認定通知書の番号 大阪市律令市民部18009号  
認定年月日 2014年3月20日  
大阪市鶴見区今津南2丁目6番3号

認定特定非営利活動法人 J.POSH  
理事長 田中 完晃

尚注  
上記の金額は、当法人の行う特定非営利活動に係る団体の活動に用済する金銭であり、税務  
上の経費として計上し、かつ公益活動の目的の達成に用済する旨を記載する事項に別添する  
書類に添付し提出する必要があります。

この交付金の支出に関する税制上の優遇を受けるためには、この「認定特定非営利活動証明書」が必要となりますので、  
提出書類大切に保存してください。

この交付金明細書の個人情報(氏名、住所、寄附金額、寄附金を受領した年月日)については、関係者の個人情報を  
保護するために、第三者に開示しないこととさせていただきます。ただし、関係者の個人情報を  
個人情報が漏洩すること、開示されることは提供いたします。

J.M.S  
ジャパン・マンモグラフィ・センター

2019年の乳がん検査を受けられる日曜日は

10月20日 日 です

団体名:認定NPO法人 J.POSH

住 所:大阪市鶴見区今津南2丁目6番3号

T E L: 06-6962-5071

### 活動概要

★乳がんで悲しむ方を一人でも少なくしたい、無くしたい

- 1.すべての女性に対する乳がんについての啓発活動
- 2.乳がん患者さんに対する支援活動
- 3.乳がん患者さんを持つ家族に対する支援活動



# 支援先 活動報告

NPO法人 ブリッジフォースマイル

<https://www.b4s.jp/>



巣立ちプロジェクト



自立支援セミナー

## メッセージ

進学や就労する児童を対象に応募を募り、支援頂いたキャミソール(品番:CB3256)、VネックTシャツ(品番:YV0015N)、靴下(品番:PL0122など)を児童にプレゼントしました。下着は必要不可欠な物なので、とても重宝していると思います。今回下着をご寄付いただいた事で、学生であれば購入費用を教科書代などに充てられたり、アルバイトする時間を減らし、勉強に充てる時間を増やすことができたと思います。あらためて、頂戴した児童に代わりまして御礼申し上げます。

子どもの虐待が多くのメディアに取り上げられる昨今、受け皿となる社会的養護にも変化の兆しが見え始めています。施設退所者の進学率は、2014年で26.3%、2018年退所者では、ブリッジフォースマイルによる調査開始以降初めて3割を超え30.1%でした。これは支援制度が進路選択の幅を広げている可能性を示唆しています。一方で、2014年から2018年までの退所者における進学先の大学等からの中退率は16.5%で、一般進学者の中退率2.7%と比較して大きな差があります。中退後の無職率13.6%、現況不明率25.2%(2014年退所者)の高さから、中退後にこそ丁寧な支援が欠かせません。自立支援・退所後支援の重要性が認識される中で、91.6%の職員が「支援を行う職員の数、時間を確保することが困難」と回答し、現場が直面する苦しさが見えられました。ブリッジフォースマイルは、自立支援、退所後支援において一歩でも前に進めるようこれからも尽力してまいりますので、引き続きご支援をお願いします。

### 2019年・新プロジェクト

「親ありき日本をこえる

Coyell/コエール」

NEW!!

親を頼れない子どもの声を届け  
ソーシャルアクションを提案するプログラム



親ありき日本をこえる

誰もが、生まれ育った環境に縛られることなく、未来を切り開けるように。

『親ありき日本』という日本の社会制度や価値観をこえるためのスピーチイベント。

7月21日開催!

2019



ボランティア人材育成研修



ジョブプラクティス

### 受領証

グンゼ株式会社 広報IR室 御中

2018年 3月 29日

キャミソール(婦人)・VネックTシャツ(紳士)・ソックス(婦人・紳士)合計560着

但し: ブリッジフォースマイル「巣立ちプロジェクト」物品ご寄付 として

上記正に領収いたしました

住所 〒100-8228 東京都千代田区大手町2-6-2

パソナグループ内

氏名 NPO法人ブリッジフォースマイル

団体名: 特定非営利活動法人 ブリッジフォースマイル

住 所: 東京都千代田区大手町2-6-2

T E L: 03-6842-6766

### 活動概要

★児童養護施設から社会に巣立つ子どもたちの自立支援

- 1.子どもたちが安心して社会に巣立ち、夢と希望を持って笑顔で暮らせる環境を作る
- 2.退所後自立して生活するための知識と、必需品や住居を支援する
- 3.退所後の働くイメージと経験を与える



# 支援先 活動報告

公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン

<http://www.savechildren.or.jp/>



西日本豪雨「こどもひろば」の実施



ウガンダ\_南スーダン難民の子どもへの支援

## メッセージ

世界中の子どもたちのために、セーブ・ザ・チルドレンをご支援いただき、誠にありがとうございます。

セーブ・ザ・チルドレンは1919年にイギリスで創設されてから、2019年で100年の節目を迎えました。第一次世界大戦で荒廃したヨーロッパで子どもたちを守るために立ち上がった創設者エグランタイン・ジェブの、「子どもの権利」の実現に向けた力強いビジョンは、今もセーブ・ザ・チルドレンの中心にあります。皆さまをはじめ、一人ひとりの方のご協力により、100年の間に世界中で10億人を超える子どもたちに支援を届けることができました。心より感謝申し上げます。

2018年は、紛争の影響を受ける子どもたち、そして食糧危機に直面した子どもたちへの緊急・人道支援を届けると同時に、教育や保健・栄養、防災、子どもの保護などの分野における支援活動を世界各地で展開しました。日本国内では、2018年7月に発生した西日本豪雨の被災地で、迅速に支援活動に取り組んだほか、子どもの貧困問題解決や子ども虐待の要望といった、日本の子どもたちを取り巻く課題への活動を進めました。

すべての子どもの、生きる、育つ、守られる、参加する「子どもの権利」が実現された世界のため、今後ともあたたかいご協力を賜りますようお願い申し上げます。

No.0029919  
〒530-0601 a002991931a  
大阪府大阪市東区南船場 3-2-22  
パピラス (OSAKA) 4F オフィスタワー22 西  
ジーンズ株式会社  
ユビキネットコミュニケーション部 庶務課 伊藤 幸希 様

Save the Children  
公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン  
〒101-8547 東京都千代田区千代田 2-8-4 山田ビル4F  
TEL: 03-6859-0070

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。  
平素より御会活動へのご理解・ご支援を賜り、誠にありがとうございます。  
このたびはご寄付のご金をお預け、心より感謝申し上げます。領収証をお送りいたしますので、ご返信下さいませ。  
預きましたご寄付は、子どもたちのための支援活動に大切に役立ててまいります。今後ともあたたかいサポートをお願いします。何卒よろしくお願い申し上げます。

敬具

公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン  
法人代表 荒川知佳

No. 0051724680  
2018年10月31日

グンゼラブアース倶楽部 様

領収証  
¥200,000  
上記の金額をお金として領収いたしました。

公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン  
〒101-0047 東京都千代田区千代田 2-8-4 山田ビル4F



ベトナム\_最貧困層のための食料確保と栄養改善



ミャンマー\_紛争後の地域での子どもの保護・教育支援

団体名:公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン

住 所:東京都千代田区内神田2-8-4 山田ビル4F

T E L: 03-6859-0070

### 活動概要

★すべての子どもにとって、生きる・育つ・守られる・参加する「子どもの権利」が実現される世界を目指して活動する。

★日本を含む世界120ヶ国でおおよそ4,000万人の子どもを支援しています。(2018年)



# 支援先 活動報告

一般財団法人 みらいこども財団



<https://miraikyouso.com/>



子供たちを救いたいという、若者が年々増加【グリーンマインドプロジェクト】

虐待で苦しみ、児童養護施設で暮らす子供たちに、教育の支援を！  
みらいこども財団

子ども 支援 福祉



子供たちに教育の機会を奪ってあげてください。

寄付総額 (総計) 15,710,017円  
寄付人数 56,590人

寄付する

現在の継続寄付人数: 209人  
毎月の継続的な応援が大きな支えになります。

T-POINT 2つなげる募金

現在もT-POINTでの寄付活動は続いています。

## メッセージ

みらいこども財団は5年目になります。現在230名もの若者がボランティアクルーとして、19以上の児童養護施設を毎月30回以上訪問し、1,500名以上の子供たちの支援をしています。2018年度は子供たち一人ひとりに教育支援をするほか、児童養護施設を出た後の子供たちの居場所作りも始まりました。さらに、6月からは関東地区でもみらいこども財団の活動を開始することもできました。みらいこども財団をはじめ多くの団体が、さまざまな社会課題の解決に向けて活動を継続できているのは、ご支援いただいている皆さまのおかげです。

グンゼラブアース倶楽部さまから頂いた肌着商品340枚(20万円相当)のうち、240枚を2ヶ所の児童養護施設に届け、残りの100枚(AIRZ)を活動資金調達のため「Yahoo!ネット募金」の景品として活用しました。T-POINTでも寄付できるこの取り組みはとても好評で、56,590人の方に応募いただき、15,710,017円の寄付金を集めることができました。ご支援いただきありがとうございました。

集まったお金は、子どもたちの人を信頼できる心を取り戻すため、ボランティアが施設で子供たちに勉強を教える教材費や交通費、子供たちの居場所を作るための費用として使わせていただきます。

みらいこども財団や他の団体を支援してくださっている皆様、今後ともどうか引き続きご支援をよろしくお願いいたします。

受領書

平成30年12月1日

グンゼラブアース倶楽部様

一般財団法人みらいこども財団

代表理事 谷山



肌着 340枚

上記を確かに受領いたしました。



勉強の楽しさを教える【教育プロジェクト】



児童養護施設訪問【キズナプロジェクト】

団体名: 一般財団法人 みらいこども財団

住所: 大阪市北区堂島浜1-1-15

TEL: 06-6344-3345

### 活動概要

1. 貧困と機会差別をなくす
2. 多くの人々が優しくなれる機会を創造する
3. 誰もが自分の5%を社会にシェアできるしくみをつくることで、世界を変える
4. 虐待や育児放棄で苦しむ子供たちを支援する



# 支援先 活動報告

大阪府 環境農林水産部 みどり推進室 みどり企画課

[http://www.pref.osaka.lg.jp/s\\_midoritoshi/](http://www.pref.osaka.lg.jp/s_midoritoshi/)



第16回 共生の森植樹祭(参加者全員での記念撮影)

堺第7-3区は、昭和49年2月から平成16年3月まで30年間に渡り府内の産業廃棄物を受け入れ埋立てしてきた大阪府堺臨海部の産業廃棄物埋立処分場です。

大阪府では、この堺第7-3区(約280ヘクタール)のうち、市民・NPO等の参加のもと森として整備することが位置づけられた100ヘクタールの区域を「共生の森」として整備を進めています。

共生の森では、産業廃棄物の受け入れを終了した平成16年より植栽及び草刈りイベントの開催等により森づくりを推進しています。

3月9日、堺市7-3区で行われた「第16回共生の森植樹祭」ではグンゼラブアース倶楽部もボランティアとして参加しました。グンゼラブアース倶楽部の寄付金と会社のマッチング基金でグンゼグリーンからシャリンバイとヤマモモの苗木を112本購入し、寄付しています。今回は昨年の台風の影響で規模が縮小されましたが、それでも300人を超える企業や個人ボランティアが集まり、約1,000本の植樹が行われました。

次回、植樹祭が行われる際にも、ボランティアの募集を行いますので、多くの皆様のご参加をお待ちしています。



シャリンバイ80本・ヤマモモ32本、以上2種112本の樹木を寄付

団体名:大阪府 環境農林水産部 みどり推進室 みどり企画課  
住 所:大阪府大阪市住之江区南港北1丁目14-16  
T E L: 代表番号/06-6941-0351(内線/2745)





## 災害支援

### ★平成30年 7月豪雨 災害支援

グンゼは7月9日 11時30分、緊急災害対応アライнс「SEMA(シーマ)」からの支援要請を受けました。グンゼ物流岡山物流センターより9,620枚の肌着を、特に浸水被害が大きい岡山県倉敷市真備町にある4箇所の避難所へ、18時45分までに届けました。どの避難所でも喜ばれましたが、特に最後にお届けした真備町・二万小学校では、皆さんに本当にうれしそうに受け取っていただいたとNPOピースウィンズ・ジャパンから報告がありました。



その他、7月19日「日本アトピー協会」を通じ茨木市の「LFA 食物アレルギーと共に生きる会」より三原市のアトピーのこどもたちの症状が悪化しているため低刺激のこども肌着の支援要請があり、当日東北グンゼよりアトネス肌着200枚を「三原市社会福祉協議会 三原アレルギーの会ひだまり」へ出荷しました。

この支援に対し10月、三原市の天満市長より感謝状を頂いています。



被災者に対する支援として、グンゼ(株)およびグンゼ労働組合が協働して義援金活動を行いました。グンゼ関係者から集められた義援金総額と同額を会社が拠出するマッチングシステムを採用し、集めた1,289,650円は8月31日、日本赤十字社を通じ現地へお届けしました。ご協力いただきありがとうございました。

### ★大阪北部地震 災害支援

6月18日、大阪北部で発生した地震により、千数百名の方々が避難生活を余儀なくされ、エコノミークラス症候群の発症が懸念されました。20日、大阪府との包括連携協定に基づく支援要請を受け、22日、枚方市保健所、高槻市保健所へ弾性ストッキング(LEG SCIENCE®)を500足支援致しました。



### ★北海道胆振東部地震 災害支援

11月18日、今回災害に見舞われた地域の皆さまに対し、「経済産業省」と「緊急災害対応アライアンスSEMA」より支援物資の要請を受け、アパレルカンパニーとグンゼ物流(株)の迅速な協力のもと肌着とソックス、タイツ等の緊急支援を実施いたしました。



### 2018年度 災害支援状況

アイテム	数量	届け日	届け先
医療用着圧 弾性ストッキング	500足	6/25	大阪府高槻市保健所・枚方市保健所
肌着(紳士・婦人・子供)	9,620 枚	7/9	岡山県倉敷市真備町の避難所
低刺激肌着(子供)	200枚	7/19	三原市社会福祉協議会 三原アレルギーの会ひだまり
肌着(紳士・子供)	1,800枚	9/11	北海道勇払郡厚真町(あつまスタードーム)
肌着(紳士・婦人)/婦人タイツ	3,940枚		
靴下(紳士・婦人・子供)	5,600足	9/12	北海道勇払郡厚真町(あつまスタードーム) / 安平町役場
肌着(子供)	400枚		

※この他、8月31日には1%クラブのマッチング寄付金(1,289,650円)を日本赤十字社に寄付しました。





## 京都府と地域活性化包括連携協定を締結



9月28日、京都府庁においてグンゼと京都府は、地域活性化、健康・医療、環境、子ども、スポーツ振興、防災など7分野にわたる連携協定と協働に関する包括連携協定を締結しました。

グンゼはこの協定に基づき「移住イベントの開催」「乳がん検診キャンペーン」「京都モデルフォレスト運動」など事業を通じた地域の活性化に努めます。



### 記者会見の様子

9月28日の締結式は京都府庁で多くの記者が集まり開催されました。グンゼからは廣地社長、京都府からは西脇知事が出席し、協定書の調印が行われました。西脇知事からはグンゼの協力に対するお礼と期待が伝えられ、廣地社長からは会社の理念の紹介とともに事業を通じて社会貢献を果たしていきたいとのあいさつがありました。

最後に10月7日からスタートする「乳がん検診キャンペーン」のSNSパネル前で記念撮影が行われ、笑顔での締結式となりました。

今後、グンゼは京都府内の事業所を中心に、下記活動を通じ、京都府における地域の一層の活性化に取り組んでいきます。

### 地域活性化包括連携協定の内容

分野	活動内容
地域活性化	移住イベントの共催
	「北部産業創造センター」の活用支援への協力
	「京都府地域の安心・安全サポート事業所」の登録
健康・医療	がん対策推進事業への協力
環境	京都モデルフォレスト運動の推進
子ども	「京のまなび教室」特別講師派遣事業への協力
	児童養護施設における卒業時の肌着支援
	オレンジリボンキャンペーンの啓発
スポーツ振興	きょうと子育て応援パスポートへの協賛
防災	障害者スポーツへの支援
その他	災害支援活動
	乳牛の発情・分娩通報システムの共同開発の継続





## 文化・スポーツ振興プロジェクト

グンゼは新しい切り口での企業メセナ活動として文化・スポーツ振興支援を積極的に行うことを決定しました。「グンゼ文化・スポーツ振興プロジェクト」を推進し、世間で関心が高まる分野に対し、長期的なスタンスでの支援を目的とした取り組みにより、顧客満足と企業価値向上を目指していきます。

### ★女子アルペンスキーヤー 安藤 麻(あんどう あさ)選手の競技生活を支援

12月28日、北海道阿寒町で開催された全日本スキー選手権において女子大回転で優勝し、2月には「2019FISアルペン世界選手権」で日本チーム女子GS(大回転)の代表として出場、3月にはコンチネンタルカップに出場するなど、アルペンスキーにおける日本での第一人者として活躍されています。また、安藤選手の着用ウェアにはグンゼブランドのロゴを貼付し出場いただいています。世界の舞台に目線を上げて着実にレベルアップしていく彼女を皆様ぜひ応援をお願いします。



3月13日、アパレル東京展示会に来場され展示会の商品全般について関心を持ってご覧になられました。また、4月10日には今シーズンの終了報告を兼ね来社され、廣地社長と和やかに歓談されました。

### ★劇団四季「こころの劇場」京都府公演をサポート

1月10日、中丹文化会館にて、劇団四季「こころの劇場『王様の耳はロバの耳』」綾部公演が実施されました。「こころの劇場」は、全国の小学生に対し舞台を通して生きる喜び、生命の大切さなどを体感してもらうために2008年から活動を実施し、2018年度は全国180都市で452回の公演、年間56万人の児童が観劇する壮大な社会貢献活動です。綾部市と周辺の小学校6年生と先生885人が観劇しました。

グンゼは京都府公演に協賛しており、今回の綾部公演に6名がボランティア参加しました。女性は会場の受付や会場案内、男性は舞台装置の設営、撤去ということで慣れない中で真剣に取り組んで頂きました。早朝から夜まで長時間の上、他のスタッフさんに比べかなり高齢！でしたが元気に取り組んでいただきました。

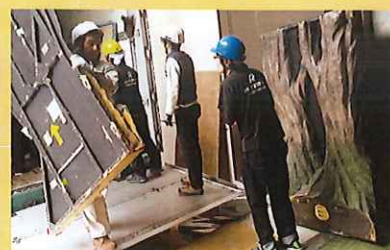
#### ボランティアを代表して

綾部総務課 川本課長

劇団四季「こころの劇場」舞台設営ボランティアに参加させていただきました。当日は、文字通り普段見ることのできない舞台裏の様子を目の当たりにし、その見事な連携に感動しました。これを年間150回以上するというのですから驚きです。特に舞台道具や機材を大型トラックたった1台に寸分の隙間もなく積込む作業(手順を一つ間違えると絶対入りきらないとのこと)は圧巻でした。また途中観劇をする時間もいただき、1日があっという間に過ぎました。来年も綾部公演を計画中とのことなので、ご興味ある方はぜひ…。



受付・案内業務



搬入・搬出作業

撮影:阿部章仁



ボランティアの皆さん

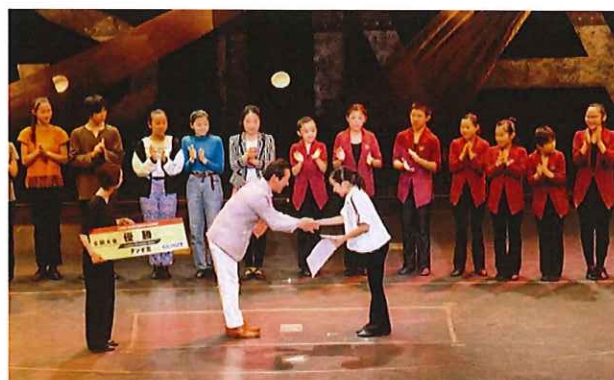
◆2019年「こころの劇場」ボランティア募集概要  
 会 期：2019年7月～2020年1月  
 大阪公演：11/18～28  
 京都公演：1/17(綾部)※他未定  
 会 場：大阪公演：オリックス劇場  
 京都公演：未定  
 演 目：『カモメに飛ぶことを教えた猫』  
 公演回数：大阪公演：17回  
 京都公演：11回  
 (京都・8回、京丹後、長岡京、綾部・各1回)



## その他CSR活動

### ★ジャパン・ユース・ダンス・フェスティバルに協賛

ガンゼは「ガンゼ文化・スポーツ振興プロジェクト」の一環としてユースシアタージャパン（以下、YTJ）と朝日学生新聞社が共催するダンスコンテスト「Japan Youth Dance festival 2019」に協賛しました。このダンスコンテストは毎年春にYTJが主催している日本最大級のダンスコンテストで、全国から若者達が集い、競い合うダンスの祭典です。4月5日から関東・関西・中部エリアで戦い抜いた精鋭たちが、4月29日、梅田芸術劇場に集まりNo.1を決定しました。廣地社長は冒頭のあいさつに加えて、舞台上で各部門入賞者を表彰されました。



YTJは、8,000名のメンバーと300名以上のスタッフが在籍する劇団であり、国際交流推進、社会貢献、健全な青少年育成を理念として活動しています。

### 里山保全活動

#### ★京都モデルフォレスト運動

2010年7月、京都府、綾部市、地元自治会などと10年契約の「森林の利用保全に関する協定」を結び、「モデルフォレスト運動」を推進してきましたが、契約も残すところ2年となりました。残りの期間を活用し活動の足跡を残せる取組を推進するため、地元自治会、行政、京都府立林業大学などと協議を重ねた結果、小畑地区にある「小畑城跡」の整備を推進することにしました。小畑城跡は標高103m。山頂には平地がありその一段下には祠が立っていて、参道（山道）にはいくつかの鳥居が並んでいます。地元の方々が集える場所として再生したいとの自治会長の思いを受け、頂上、祠、参道の整備と共に春には山桜が咲き乱れる集いのポイントとなるよう計画し2019年11月にガンゼグリーンの桜の木を植樹する予定です。

第31回の活動にはFMいかるの取材が入ったり、里山ねっと・あやべのスタッフがドローンによる空撮を行うなど、京都府立林業大学や自治体との連携のもと活発な活動を行ないました。

#### 京都モデルフォレスト運動 in 綾部

日程	回数	開催地区	参加人数	活動内容	その他イベント
4/21	第28回	鍛冶屋地区	26名	竹の伐採など	旬の竹の子堀り・アースデイ
5/26	第29回	鍛冶屋地区	29名	竹の伐採など	初夏を感じるBBQ
10/20	第30回	小畑地区	25名	小畑城参道整備	手作りピザ・秋の味覚満載BBQ
11/3	第31回	小畑地区	32名	小畑城参道整備	大焼きそば・秋の味覚満載BBQ





## その他CSR活動



### 福島復興支援

#### ★福島ひまわり里親プロジェクト

「福島ひまわり里親プロジェクト」は、2011年3月に発生した東日本大震災後、「福島県に震災復興のシンボルとしてひまわりを植えよう」と始まった活動で、福島の復興支援につながっています。当社はこのプロジェクトの趣旨に賛同し、2012年から毎年、里親(全国の事業所)のもとで育てたひまわりの種を福島に届けています。2018年度の福島ひまわり里親プロジェクトは26事業所に参加してもらい、75パック約7,500粒の種を配布しました。GUNZE Times(イントラネット)には花壇の整備や種まきから収穫まで、たくさんの成長記録レポートを寄稿いただきました。夏には大型の台風が日本列島を縦断するなど厳しい状況も発生しましたが、参加いただいた多くの皆さんの努力の甲斐あり約22kgもの種を収穫し福島へ送ることができました。また、初企画の「10粒重量コンテスト」には10事業所がエントリー。優勝チームの山梨物流からは、1粒約0.5gの種を1.16gにまで大きく育てていただきました。この「10粒重量コンテスト」は2019年度も引き続き行っています。



2019年度は過去最高の30事業所の参加申込みがあり、85袋(8500粒)の種を注文しました。

今年度採取された種は、来年「東京オリンピック・パラリンピック」の野球・ソフトボール競技会場がある福島県内に配布されます。日本全国はもちろん世界各国から福島を訪れる方々を出迎える「福島ひまわり」の元気な種を育てていただきたいと思います。



### ピンクリボン運動

#### ★だから行こう 乳がん検診

大阪府 包括連携協定と京都府 地域活性化包括連携協定に基づき、10月7日大阪なんばウォーク、10月8日京都ゼスト御池にて「だから行こう乳がん検診」のイベントを開催しました。大阪府・京都府ともに乳がん検診率が低く、乳がんに関する意識を高めてもらうためのイベントです。会場では「乳がん触診モデル」を昨年より増やし、8台配置し実際にしこりの感触を体感したり、セルフチェックの方法などもレクチャー、術後のQOLを向上させる「メディキュア」商品の紹介も行いました。また、大阪府 広報担当 副知事の「もずやん」や京都府 広報監の「まゆまる」、グンゼスポーツの「ジャンピー」などのゆるキャラも参加し記念撮影で会場を盛り上げました。

隣接する「cocochi select by GUNZE」のショップでは乳がん検診「行きました!」「行きます!」「勧めます!」を宣言すると「SABRINA」ストッキングもらえるキャンペーンも実施。ゼスト御池の会場にはKBS京都放送の取材も入りグンゼオフィスサービスの清嶺地さんがインタビューに対応、当日夕方のトップニュースで放映されました。





## その他CSR活動

### 放課後子ども教室

#### ★肌着教室

2016年度よりスタートした「肌着教室」の出前授業では「肌着を着よう!～汗の役割と肌着の効果～」と題し、子どもたちに肌着の大切さを伝えています。2018年度は京都府と結んだ地域包括連携協定により、活動の場を京都府にも広げ、6校で子どもたち他教員・PTAを含む265名に対し授業を実施しました。

#### 2018年度 活動実績

実施日	開催場所	参加人数
5/23	広島県廿日市市 山陽女学園 中等部・高等部	162名
7/12	和歌山県日高郡 日高川町立中津小学校 5～6年生(女子生徒)	14名
7/25	大阪府泉佐野市 泉佐野市立第三小学校 1～6年生	30名
12/5	大阪府大阪市 大阪市立大淀小学校 5～6年生・教員・PTA・保護者	25名
12/21	京都府亀岡市 児童養護施設 社会福祉法人 青葉学園 小学生・保育士	14名
2/19	兵庫県尼崎市 尼崎市立園田東小学校 教員、PTA(保護者)	20名



### シングルマザーの応援フェスタ2018

9月8日、大阪のドーンセンターで「シングルマザーの応援フェスタ2018」が開催されました。このイベントは、白井(前)社外取締役が理事を務めるドーン財団が主催したもので、いつも頑張っているシングルマザーの皆さんが同じ立場の女性と語り合う機会や、寄贈スーツなどをプレゼントするコーナーを設けたものです。事前告知で募集したところ、当社からはスーツ18着を含む81点が集まりました。

当日はあいにくの雨にもかかわらず、63名のシングルマザー(プレシングルマザー含む)の方々が参加されました。イベント中には一時保育の部屋を設けて33名のお子さんをお預かりし、お母さん方は全日空キャビンアテンダントOGによるワークショップなどをゆっくり楽しまれました。面接、通勤に使えるスーツプレゼントのコーナーには当社のほかにサンケイリビング新聞社、住友精密工業などの企業や、NPO団体をはじめとした団体から寄せられたアイテムが1,000点以上寄せられました。

フェスタ終了後、参加者の方々からは「同じ立場の女性同士で語り合えてよかった」「優しい時間が過ぎてよかった。同じ環境の人がたくさんいて、勇気、元気が出た」「今までに自分のために使うお金の余裕がなかった。服がもらえてよかった」などの声が寄せられました。今後も同様のイベントなどにはできるだけ協力していきたいと考え、2019年度も協力が決まっています。



昨年ご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。



## その他CSR活動



### もったいない活動

ゴミ箱に捨ててしまえば単なるゴミとして処理されるものを、業者に買い取ってもらうなどしてお金に換えることで、支援に役立ててもらいます。運送コストのウエイトが高く寄付効率が低くなっていたため、2018年度からアルミ缶やエコキャップは地域の自治体やスーパーの回収ボックスなどの活用をお願いしております。使用済み切手は、広報IR室に送付いただいた分は、一括して「認定NPO法人 緑の地球ネットワーク」に寄付いたしました。

種別	実績 (昨対比)	送付先
プルタブ・アルミ缶	38.2g (19%)	地域自治体・リサイクル業者
エコキャップ	528,288個 (91%)	イオンなどスーパーの回収ボックス など
使用済み切手	5,298g (41%)	社内便にて広報IR室へ送付



### その他活動

#### ★守山事業所の献血活動に対して感謝状を受領

7月19日、守山事業所での献血活動への協力が評価され、厚生労働大臣から表彰を受けました。守山事業所では20年に渡り、年2回献血活動を行っています。滋賀県庁で行われた滋賀県献血功労者表彰式では、事業所としての表彰に加え、担当者である北川看護師に「献血推進者」として個人で感謝状を授与されました。

献血に協力していただける方を増やすために毎回記念品や展示物に工夫を凝らし、着実に献血者数が増えてきています。今回の受賞を機に、より一層「一人ひとりができる社会貢献活動」として協力者数増に努めていきます。

#### ★滋賀県視覚障害者福祉協会長が来社

7月に滋賀県視覚障害者協会が運営している滋賀アイステーションから靴下の端切れを利用したクッションづくりのための材料提供依頼があり、九州グンゼよりストックの端切れを送りました。11月8日このストックを使った作品「マシュマロマット」を持って、協会長やスタッフの方3名が挨拶に来社されました。設立90年を迎える滋賀県視覚障害者福祉協会は全国でも歴史のある団体で、数千人の会員さんがいます。この作品の高評価を受け早速九州グンゼより追加支援を行いました。

#### ★「京都創造者賞」受賞

9月3日、ロームシアター京都で開催された「京都創造者大賞2018」の授賞式に佐口常務が参加しました。京都創造者大賞とは、京都府内での「京都ブランド」のイメージアップ、都市格向上に貢献している個人、法人、団体および商品や技術、サービスなどに贈られるものです。当社は、多様な事業展開や新たな交流拠点の創設などによる創業の地・綾部の地域振興への貢献が評価され「京都創造者賞」を受賞、12回目の開催にして初めての受賞となりました。授賞式後には、佐口常務による活動紹介も行われました。授賞式の様子は9月4日付けの京都新聞でも紹介されました。

#### ★「地域でなりわいをつくる」京都府移住セミナー開催

グンゼは京都府との地域活性化包括連携協定に基づき、大阪本社と東京支社を移住セミナーの会場として提供しています。1月26日、グンゼ大阪本社22階の会議室で「京都府の移住セミナー」が開催されました。今回は京都府の中でも南丹地区と呼ばれる亀岡市、南丹市、京丹波町への移住希望者を対象にしたセミナーでしたが、今後は綾部など、現地説明会の会場提供や各事業所の事業紹介なども行っていく予定です。

#### ★緑育出前授業の参加

2月27日、大阪教育大学付属幼稚園で緑育授業と記念植樹が行われ、グンゼグリーンは“緑育出前授業”を行いました。“緑育出前授業”とは「日本植木協会」の活動の1つで、『緑に親しみを持ってもらうために、緑の育ち方、環境とのかかわりを体感してもらう授業』です。子供たちに緑に関心を持ってもらうことが、自然を大切に地球温暖化などの環境問題の対策につながることを願っています。

#### ★子供たちの「勉強したい!」をかなえる活動に参加

山梨物流は教育支援事業「スクールサポートプログラム」のブックマジックに参加しており、主催の特定非営利活動法人ジェン(JEN)より、お礼状が届きました。自宅やオフィス等で読み終わった本、聴かなくなったCD、見終わったDVDをダンボールに詰めて、送料無料で引き取ってもらい、その買取額がJENのアフガニスタン、イラク、シリア難民支援等の教育支援に役立てられます。部屋の片付けとリサイクルも兼ねて、簡単に参加できる国際協力。子供たちの「勉強したい!」をかなえる活動を続けています。





# LOVEEARTH®

平素より、当倶楽部の活動にご理解・ご支援を賜り、誠にありがとうございます。

2019年度も引き続きご協力いただけますようよろしくお願いします。

グンゼラブアース倶楽部は随時新規会員を募集しています。

一人でも多くの方々に活動のご理解がいただけるよう、皆さまお声がけをお願いします。



